伊那建設事務所 整備課

事			
	業名称	学吸引领电器	
	事業名	道路改築事業	
	整理番号	25-5	1 ft - 7 4 3 1 - 10 0 = ± 1 H
	事業の種類	道路(国道、県道、農道、林道)の新設・改	文築 及び街路の整備
	市町村名	伊那市	
	箇所名	一般国道152号 栗田~四日市場 (伊那市高遠町長藤)	
事業年度 平成23~29年度			
争	^長 概要		
	目的	バイパス道路の整備により広域交通を円滑化し、かつ、当該区間の車輌や歩行者の安全を確保する。	
	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路築造工 延長L=1.5km 道路幅員W	/=10.25m 車道幅員W=6.5m
	関連する事業計画	特になし	
-	その他特記事項	特になし	
関	係法令等の規制	1+0	
	自然環境保全地域等の指定状況 土地利用規制の状況	なし 河川法の河川区域または河川保全区域 砂防法の砂防指定地	森林法の保安林等
	その他	なし	
	C 00 12	<u></u>	
社	会的要素	留意すべ	き地域の概況
	交通の現況	諏訪地域と伊那地域を結ぶ幹線道路である。 高遠城趾公園へのアクセスルートであり、観桜期等には交通量が増加する。 長野県緊急輸送道路(第一次)に指定されている。 バス路線である。 交通量は3925台/日である。	
	土地利用の現況	平野・田園である	
	上灯田生长机の石切	田田には日が生人していて	
	生活関連施設の現況	周辺に住居が集合している。 周辺に伊那市立高遠北小学校がある	
	その他	特になし	
百		留意すべき地域の概況	想定される影響又は環境配慮の方針
	大気環境	生活関連施設がある	騒音、振動の防止 悪臭の防止 大気汚染の防止
	水環境	河川・湖沼がある	水質汚濁の防止
	710200	用水の取水地点がある	
		カスの4x水池点点がある	水循環の保全
	地形・地質	谷底平野である 礫がち堆積物である	
	野生動植物	谷底平野である 礫がち堆積物である 里山の地域である	水循環の保全 改変面積の最小化 環境保全上重要な地形・地質の改変の回避 自然環境保全上重要な地域の改変の回避 動植物への負担の少ない形状・素材の使用 地域独自の生物多様性の保全 野生動植物の生息・生育空間の保全
		谷底平野である 礫がち堆積物である	水循環の保全 改変面積の最小化 環境保全上重要な地形・地質の改変の回避 自然環境保全上重要な地域の改変の回避 動植物への負担の少ない形状・素材の使用 地域独自の生物多様性の保全
	野生動植物	谷底平野である 礫がち堆積物である 里山の地域である	水循環の保全 改変面積の最小化環境保全上重要な地形・地質の改変の回避 自然環境保全上重要な地域の改変の回避 動植物への負担の少ない形状・素材の使用 地域独自の生物多様性の保全 野生動植物の生息・生育空間の保全 良好な景観の育成
	野生動植物 景観 自然とのふれあい 文化財等	谷底平野である 礫がち堆積物である 里山の地域である 山地景観を形成している	水循環の保全 改変面積の最小化環境保全上重要な地形・地質の改変の回避 自然環境保全上重要な地域の改変の回避動植物への負担の少ない形状・素材の使用地域独自の生物多様性の保全野生動植物の生息・生育空間の保全良好な景観の育成すぐれた景観の保全 自然とのふれあいの場への立地の回避 想定される影響はない
	野生動植物 景観 自然とのふれあい 文化財等 廃棄物・ 建設残土	谷底平野である 礫がち堆積物である 里山の地域である 山地景観を形成している 一級河川藤沢川(水辺)がある	水循環の保全 改変面積の最小化環境保全上重要な地形・地質の改変の回避 自然環境保全上重要な地域の改変の回避動植物への負担の少ない形状・素材の使用地域動植物の生物多様性の保全野生動植物の生息・生育空間の保全良好な景観の育成すぐれた景観の保全 自然とのふれあいの場への立地の回避 想定される影響はない 建設廃棄物や建設残土の発生抑制建設廃棄物や建設残土のリサイクル資源の有効利用
	野生動植物 景観 自然とのふれあい 文化財等 廃棄物・	谷底平野である 礫がち堆積物である 里山の地域である 山地景観を形成している 一級河川藤沢川(水辺)がある	水循環の保全 改変面積の最小化環境保全上重要な地形・地質の改変の回避 自然環境保全上重要な地域の改変の回避動植物の負担の少ない形状・素材の使用地域独自の生物多様性の保全野生動植物の生息・生育空間の保全良好な景観の育成すぐれた景観の保全 自然とのふれあいの場への立地の回避 想定される影響はない 建設廃棄物や建設残土の発生抑制 建設廃棄物や建設残土のリサイクル
	野生動植物 景観 自然とのふれあい 文化財等 廃棄物・ 建設残土 省資源・省エネルギー・	谷底平野である 礫がち堆積物である 里山の地域である 山地景観を形成している 一級河川藤沢川(水辺)がある	水循環の保全 改変面積の最小化環境保全上重要な地形・地質の改変の回避 自然環境保全上重要な地域の改変の回避 動植物への負担の少ない形状・素材の使用 地域独動植物の生息・生育空間の保全 良好な景観の育成 すぐれた景観の保全 自然とのふれあいの場への立地の回避 想定される影響はない 建設廃棄物や建設残土の発生抑制 建設廃棄物や建設残土のリサイクル 資源の有効利用 環境への負荷の少ない機械の利用等